

# JA 青年部が四小学校で栽培指導

富野小では甘いスイカに実ること願ひ苗を植える

JAとまこまい広域青年部厚真支部(桐木洋光支部長・部員四十人)が、農業体験を通して食の大切さを知ってもらおうと、町内の四小学校で野菜や稲作栽培などについて子どもたちに指導を行いました。

各地域に住んでいる青年部員が手分けして指導にあたり、五月十一日に、軽舞小学校で学校の畑にジャガイモなどの栽培指導が行なわれ、二十四日には、富野小学校(佐々木美恵子校長)の三・四年生八人が中島広幸さんなどにより、学校の畑でスイカ栽培の指導を受けました。剪定の仕方、世話の仕方などの話に続き、長靴と軍手の出立ちで、甘いスイカに育つてくれることを願ひながら児童たちは苗を植え込んでいました。また、六月に入り一日に中央小学校児童が幌内で、二日には上厚真小学校児童が学校の畑で米・野菜づくり体験を行いました。

スイカの育て方を指導する中島さん(左)と富野小児童



6 / 2 上厚真小学校

6 / 1 中央小学校

5 / 11 軽舞小学校

## 2羽のハクチョウが田植え作業を見守る

2羽のハクチョウが軽舞の大捕孝吉さんの水田で羽を休め、田植え作業を見守っていました。

このハクチョウは、ゴールデンウィーク明けから飛来し住み着き、大捕さんが専門家に尋ねたところ、ウトナイ湖で生まれた子どものハクチョウではないかということです。大捕さんは「不思議と苗を植えたところには行かない。土の中の虫や小川のドジョウを食べているようだ」と突然の訪問者に目を細めていました。



あぜ道で羽を休める2羽のハクチョウ

落ちていたゴミの種類も調査



## 札幌の会社員と軽舞小児童が浜厚真海岸を清掃作業

サーフィンなどアウトドアを愛好する札幌の会社員と軽舞小学校児童が、5月30日、浜厚真海岸の清掃作業を行いました。

会社員の皆さんによる浜厚真海岸でのクリーンアップ運動は今年で3回目で、その活動をホームページで見た軽舞小学校(荒木玲子校長)の児童が今年はその輪に加わりました。参加した三浦千茂くん(4年生)は「なんでこんなにゴミが落ちているのかビックリした」と話し、1時間あまりにわたり一生懸命ゴミを拾っていました。

## 風呂上がりのもちも なかなかいけますよ



もちつきを楽しむ子どもたち

五月五日こどもの日に、こぶしの湯で「子どももちつき大会」が行なわれました。

ゴールデンウィークに合わせたこのイベントは、昨年引き続き行なわれ、約50人の子どもたちがもちつきに挑戦しました。

三升のもちつきは、なかなか手ごたえがあるにもかかわらず、子どもたちは楽しそうにやっていた。つきあがったもちには、ゴマだれや黄な粉もちとして無料で振る舞われ、たくさんのお客さんが舌鼓を打っていました。

## 上厚真ベアーズが創立20周年の節目を祝う

上厚真ベアーズ少年団後援会（上田商司会長）が、5月21日、厚南会館で創立20周年記念祝賀会を行いました。

町スポーツ少年団連絡協議会の古川歳雄会長をはじめ関係者50人が出席し20周年の節目を祝いました。

主催者を代表し、上田会長は、「平成15年春の甲子園に、本少年団出身の山本直寛くんが出場した。野球をする子どもたちの歓声が絶えない地域にしていこう、今後も育成に力を入れていきたい」とあいさつをしていました。



## おまわりさんや交通安全指導員さんが交通安全指導

中央小学校（近藤茂校長）では1・2年生約50人を対象に、5月25日、厚真市街地で交通安全教室を行ないました。

栗本厚真駐在所長をはじめ、交通安全指導員の皆さん、先生、保護者などが協力して指導にあたりました。

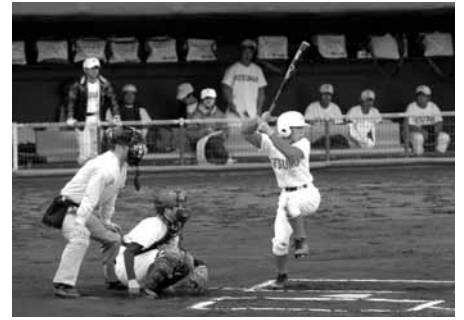
栗本所長が「たったひとつしかない命。今日行なったことを思い出して、交通事故には十分注意してくださいね」と子どもたちへ話していました。



## 実りの秋を願い家族で作業 遊楽農園開園

都市と農村の交流をはぐくむ「あつま遊楽農園」が五月一日に開園しました。総合福祉センターでの開園式に引き続き、会場を宇隆地区の農園に移し作業を開始。

毎年継続して参加している家族も多く、手慣れた手つきでジャガイモなどを植えていました。参加者の星さんは「厚真に引っ越してきたばかりなので初めての参加です。秋の収穫が楽しみですわね」と話していました。



## 七回ゴールド負けをバネに 夏の大会で勝利を目指す

春季北海道高等学校野球大会室蘭支部予選が行なわれ、厚真高校が五月十六日に苫小牧市営緑丘球場で浦河高校と対戦しました。

七人の一年生が加入し、部員数は十二人。練習試合で勝利を収めるなど着実に力をつけていて、公式戦での勝利を目指して試合に臨みました。

結果は、〇対九の七回ゴールド負けでしたが、中盤を押しさえこむ見せ場もあり、この試合をバネに夏の大会での勝利を選手たちは誓っていました。